

## ごあいさつ



SK松本ジュニア合唱団  
団長 芦田勝弘

本日は年末を迎え何かとお忙しい中、SK松本ジュニア合唱団のクリスマスコンサートに御来場頂きまして誠にありがとうございます。

松本市から発信する世界の音楽サイトウ・キネン・フェスティバル（SKF）を誇りに、SKの文字を冠した本合唱団は、1993年のSKFが初めて上演したオペラ「火刑台上のジャンヌ・ダルク」に出演した児童合唱団を母体に結成されました。団員も徐々に増え小学校1年生から高校3年生まで100名余りの、歌うことの好きな仲間が地域を越えて集まり練習を重ねています。

音楽は心に潤いと感動をもたらします。心を合わせて素晴らしい音楽を作り上げる感動を通して、豊かな感性を育み、それぞれの夢に向かって伸び伸びと育てて欲しいと心から願っています。

関係者のご支援で本合唱団の活動も11年目を迎え、この間内外の一流アーティストとの共演や各種演奏会への出演、福祉施設への訪問演奏などを通して貴重な体験を重ねてまいりました。

今年は長野県少年少女合唱祭を主管し、またSKF歓迎吹奏楽パレードに合わせて開催したSK松本合唱団とのジョイントコンサート「お城 de ハーモニー」や全国童謡・唱歌サミット松本大会への出演など数多くの活動を行ってきました。こうした活動を通して子供たちの成長と共に合唱団や保護者にも着実な成長が実感されています。

歌うことを通して、地域に愛されながら音楽の素晴らしさを実感できる活動を続けられるのも、長野県松本文化会館や松本市関係の皆様、また温かく見守って下さっている地域の皆様方と、多感な年代の子供たちの思いを真正面から受け止め、ご指導下さっている素晴らしい先生方のおかげと関係者一同心から感謝申し上げます。

これからもSK松本ジュニア合唱団を温かく見守り、育てて頂くことをお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

本日のコンサートを十分にお楽しみ下さい。